

もしものときのために

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態(もしものとき)になると、**約70%**の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。



もしも意識が低下して、医療やケアについて自分自身で決められない時は、どうしたらいいの？



本人がもしものとき、家族など周囲の人はどのように対応すればいいの？救急車？

自分が望む医療やケアについて、**前もって**考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを【アドバンス・ケア・プランニング(ACP)】と言います。一般の方に親しみやすくなるように厚生労働省が【人生会議】と名付けました。

【人生会議の進め方】(例)

あなたが**大切にしている**ことは何ですか？



あなたが**信頼できる人**は誰ですか？



信頼できる人や医療・ケアチームと**話し合**いましたか？



話し合いの結果を大切な人たちに伝えて**共有**しましたか？

心身の状態に応じて考えは変わります
何度でも、繰り返し考え、話し合います

もしものときのことについて、医療者と一緒に考えたい場合など、ご相談があればがん相談支援センターへお尋ねください。